

平成30年度 第1回 北栄町文化財保護委員会

日時 平成30年5月16日(水)

午前10時40分～11時35分

場所 北栄町中央公民館2階 大研修室

参加者 北栄町文化財保護委員 : 日置桑左エ門・前田明範・中前雄一郎・遠藤晃子  
事務局 : 別本勝美教育長・杉本裕史生涯学習課長・前田美友紀文化スポーツ推進室室長  
手嶋仁美文化スポーツ推進室主幹・書記朝倉  
欠席 : 南場兄一(北栄町文化財保護委員)

1. 開会
2. あいさつ
3. 自己紹介

課長: あいさつ、自己紹介は北栄町歴史民俗資料館運営委員会と同じですので省略します。

新しく委員になりました 遠藤晃子さん 美術・社会に見識を持ち、造詣が深いということになっていただきました。よろしくお願ひします。

4. 委員長・副委員長の互選

課長: こちらも歴史運営委員会と同様事務局の方で進めさせていただいてよろしいでしょうか。(よし)

委員長は引き続き、日置桑左エ門先生にお願いします。できれば委員としておられる間はよろしくお願ひしたいと思ひます。

それに伴ひ、副委員長も引き続き中前先生にお願ひしたいと思ひます。

委員長: 日置桑左エ門 副委員長: 中前雄一郎

委員長: 県博の委員を辞めようと思ひたが、やめ時を逸した。今は北栄町に関わるものだけにしている。先般、田村先生が体調を崩され、私も風邪をひき他の会には顔を出していないが、武信展と河本家は見に行った。大したことはできないが、お世話になりながらやっていきたい。

5. 報告事項

(1) 平成29年度実施報告について…【共通資料P1～2】

委員長: 事務局お願ひします。

室長: 齋尾家住宅限定公開を2回開催した。本年度も2回行いたい。

瀬戸獅子舞保存会が県知事賞受賞。DVDが作成され、視聴覚教材として貸し出す

ことが出来る。H30年度は助成金23万円で衣装等をつくられる予定。  
北条砂丘水くみ唄保存会についても5万円の助成はもらわれたが、着物等の衣装  
についても直したいと思っておられるので、今後も申請していく。

(2) 山陰道整備予定について

室長：30年度は北条道路関係に17億4500万の予算が付き、埋文調査などを  
する予定。

5月21日(月)国交省と話し合い。

課長：測量や地質に関する事が予定されているのではないかと思う。  
用地買収もまだであり、台場から海が見える条件は今後も言っていく。  
安全対策として7億2200万の予算が付いている。

委員長：ご意見、質問がありましたら。

前田：当日配布資料の時系列が分からない。

室長：〈広報北栄 H30.8月号掲載記事〉 → 〈広報北栄 H29.8月号掲載記事〉に  
修正してください。

(3) その他

課長：北野神社のところに小型風車2基建設予定。県文化財課に相談し、埋文セン  
ターの職員2人来ていただき、試掘を行った。何も出てこなかった。

6. 協議事項

(1) 平成30年度事業計画について…【共通資料 P.3~4】、資料 P.3~6

室長：(町内埋蔵文化財整理事業) 歴民運営委員会で説明済なので省略  
(文化財保護対策事業)

東高尾観音寺燻蒸 県の補助金を受け、暖かい7月~9月に実施。

齋尾家管理報償費 毎年64,800円を予算化。

(町内遺跡発掘調査事業) 国1/2、県1/4の補助

養豚場建設予定の話があり、進めば大きな規模の発掘調査になるかもしれ  
ない。北条道路・313号整備関係

(由良台場・六尾反射炉発信、連携事業) ……資料 P.7~8

課長：由良台場、六尾反射炉の日本遺産登録に向けて目途をつけたい。

港区は日本遺産には参加しない。

伊豆の国市、佐賀市と連携し、県文化財課と相談しながらやっていきたい。

図書館バス車庫オープンギャラリー化：由良台場模型・反射炉模型常設展示

ALWAYS：お台場活用

港区まなマルシェ。

六尾反射炉水路確認 5月17日(木) ガイド：西園 秋山寿雄さん

(2) 地域副読本(歴史・人物編)について …… **資料 P.9**

室長：歴史編、人物編を別々に作成予定だったが、別々では使いにくいという学校の意向もあり両方一度に作成することになった。

編集委員会と事務局で考えてはいくが、途中で文化財保護委員の方にもご意見をうかがっていく。

第1回は遠藤先生と事務局で話し合いをしたのみ。

委員長：ご意見、質問はありますか。

前田：「紐づけ」の意味は。

課長：歴史に関連付けて人物を紹介していく。

学校の社会の教科書、目次ごと、項目ごとに副読本として出せるものを選んでいく。

歴史編の後ろにも人物解説していく。

今回の作成で掲載されなかった人物は合本時に足していき完成させる。

委員長：小学校にも歴史の学習というものがあるのか。

室長：小学6年生であります。大きな範囲だがそれに関連付けて。

中前：人物とは、例えば？

課長：豊田父子、日置黙仙など。学校で近代は難しいみたいだが。

遠藤：北栄町に限定せず、ある程度北栄町周辺の地域を含めて広範囲でうまくからめながら。ガイドランスのガイドランスというスタンスで作成していく感じ。

課長：遠藤先生中心だが、委員のみなさんに監修をお願いしたい。

(3) 「歴史文化探訪ガイドマップ」リニューアル … **資料 P.10**

室長：広げるものから冊子タイプに。

中身としては以前のを参考にしながら。

文化を巡ってもらえるようなプランも提案してみたい。

課長：ある程度できたら、みなさんに送付してチェックしていただきたい。

委員長：幅が広すぎて、説明が大変。

中前：メインターゲットは？専門の方向け？親子？ガイドマップはどこに置く？

室長：専門の方向けかもしれませんが、基本的にはどの方にも見ていただけるものを作成したいと思っている。配置場所は、北栄みらい伝承館、窓口、道の駅等を予定している。

委員長：ガイドマップをもらうのに料金は？

室長：無料配布。3,000部作成。

委員長：今のものは良い内容ものだと評判。

前田：タイトルはかたい感じがするがそのまま？

課長・室長：変更については考えていなかったが、こだわりがあるわけではないので、初校も含めてタイトルもチェック・案をお願いします。

中前：地図は最初がいいかな。文字が最初だとお腹一杯になってしまう。

ターゲットははっきりした方が良い。湯梨浜でマップを作成しているが、ターゲットを決めて作成している。

前田：観光ガイドなのか、もっと深いものなのか。

課長：網羅した方がいいのかなと。

教育長：観光マップではないので、深いものであってもよい。

中前：A5サイズで24ページの冊子は作りやすい。実際、棚などに並んでいる冊子は同じサイズばかりで種類が大変多く、手に取ってもらえるかが心配。タイトルで印象付けができるものがよい。

課長：見せ方は十分に考えていけないといけない。

前田：北栄みらい伝承館につながる、優しさのあるタイトルがよい。

(4) その他 特になし

7. その他 特になし

8. 閉会